資料７-３

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

亀山市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

<table>
<tr><th colspan="2">目標</th><th>目標を達成するための
取組</th><th>調査方法</th><th>達成状況・分析</th><th>評価・次年度に向けた課題や取組</th><th>備考</th></tr>
<tr><td colspan="2">市内バス路線等の利用者総数
【目標値】
令和8年度 317,000人以上</td><td>隣接市（津市・鈴鹿市）と連携し、利用促進啓発チラシを作成し、沿線住民へ回覧した。また、亀山駅周辺整備により、亀山駅前のバス待合環境は整備された。</td><td>亀山市及び
バス運行事業者
データ</td><td>・未達成
・212,807人（令和4年度）
・新型コロナウイルス感染症の影響による輸送需要の変化や利用者ニーズの変化等があり、利用者数はコロナ禍以前の水準まで回復していない。</td><td rowspan="2">・今後も積極的に地域に出向き意見交換会の実施や地域と連携・協働によるバス活用イベント等の利用促進活動を展開していくとともに、輸送量が低迷している地域間幹線系統について、引き続き隣接市（津市・鈴鹿市）やバス運行事業者と連携し、利用促進活動を実施する。また、利用者ニーズを把握するため、バス乗降調査を実施する。

・分かりやすい公共交通マップを作成し、鉄道、バス、乗合タクシー等の市内公共交通全体を一体的にＰＲし、相乗効果が図られるよう利用促進活動を行う。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コミュニティバス路線の
利用者総数
【目標値】
令和8年度 102,000人以上</td><td>地域との意見交換会やバス運行事業者と連携し、新図書館への誘導を目的に、SNSを活用した情報発信を行った。また、「野登ルート」、「東部ルート」、「南部ルート」において、乗降に便利なオートステップ機能や車イスのまま乗降できる仕様の新型車両の本格導入に向けた試行運転を開始した。</td><td>亀山市及び
バス運行事業者
データ</td><td>・未達成
・73,861人（令和4年度）
・新型コロナウイルス感染症の影響による輸送需要の変化や利用者ニーズの変化等があり、利用者数はコロナ禍以前の水準まで回復していない。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">乗合タクシーの利用者総数
【目標値】
令和4年度 4,800人</td><td>乗合タクシー制度の定着や利用促進を図るため、出前講座を開催した。（計3回）</td><td>亀山市データ</td><td>・未達成
・4,514人（令和4年度）
・バス利用者の回復等もあり、令和3年度並みで推移した。
(R3:4,688人⇒R4:4,514人)</td><td>乗合タクシーの定着と利用促進を図るため、継続的な出前講座の実施や各種団体等へ積極的に出向き制度の説明を行うとともに、利用者アンケート調査を行い、地域実情や利用実態を分析する。また、新規登録者へ無料体験乗車券の配布や様々な媒体を活用した積極的な制度周知に努め、利用者の増加を目指す。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">コミュニティバス路線の
１便あたりの平均乗車人員数</td><td rowspan="6">地域との意見交換会やバス運行事業者と連携し、新図書館への誘導を目的に、SNSを活用した情報発信を行ったとともに、利用促進啓発チラシを作成し、沿線住民へ回覧した。また、「野登ルート」、「東部ルート」、「南部ルート」において、乗降に便利なオートステップ機能や車イスのまま乗降できる仕様の新型車両の本格導入に向けた試行運転を開始した。</td><td rowspan="6">亀山市及び
バス運行事業者
データ</td><td>－</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>さわやか号
【目標値】
令和8年度 7.7人/便・日以上</td><td>・未達成
・5.5人/便・日以上（令和4年度）</td><td rowspan="6">・今後も積極的に地域に出向き意見交換会の実施や地域と連携・協働によるバス活用イベント等の利用促進活動を展開していく。また、利用者ニーズを把握するため、バス乗降調査を実施する。

・必要に応じて、意向調査を実施し、鉄道やバス等の乗り継ぎや主要施設へのアクセスを考慮したダイヤの見直しの検討を行う。</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>野登・白川地区自主運行バス
【目標値】
令和8年度 4.4人/便・日以上</td><td>・未達成
・2.7人/便・日以上（令和4年度）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>東部ルート
【目標値】
令和8年度 4.1人/便・日以上</td><td>・達成
・4.1人/便・日以上（令和4年度）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>南部ルート
【目標値】
令和8年度 2.7人/便・日以上</td><td>・未達成
・2.3人/便・日以上（令和4年度）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>西部ルート
【目標値】
令和8年度 2.5人/便・日以上</td><td>・未達成
・1.8人/便・日以上（令和4年度）</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>加太地区福祉バス
【目標値】
令和8年度 4.6人/便・日以上</td><td>・未達成
・4.0人/便・日以上（令和4年度）</td><td></td></tr>
</table>

（記載に当たっての留意事項）

- 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

資料７-３

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

亀山市（区町村）地域公共交通計画の評価等結果（令和4年4月～令和5年3月）

目標	目標を達成するための 取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
市内の鉄道駅の 乗車人員数（1日平均） 【目標値】 令和8年度 3,400人以上	県、沿線自治体及び関係団体と連携し、ＪＲに対し、利便性の向上について要望活動を実施した。また、関西本線（亀山～加茂間）の利用者が年々減少していることを受け、令和4年6月に三重県、亀山市、伊賀市、JR西日本で「関西本線活性化利用促進三重県会議」を発足し、利用促進活動を実施した。	三重県統計書 データ	・未達成 ・2,764人（令和3年度） ・新型コロナウイルス感染症の影響による輸送需要の変化などにより、利用率の高い通勤・通学利用者が、コロナ禍前の水準まで回復していない。	来訪者や市民に鉄道による広域的な移動の利便性を高めるため、県、沿線自治体及び関係団体と連携し、ＪＲに対し、利便性の向上について働きかけを行うとともに、鉄道事業者と連携し、観光誘客を含む鉄道利用者増へ向けた利用促進啓発活動を実施する。また、地域と連携を図り、地域資源を活かした利用促進活動も実施する。	
移動環境に対する 不満割合 【目標値】 令和8年度 15%以下	乗合タクシーの出前講座や地域まちづくり協議会との公共交通についての意見交換会を行い、地域ニーズの把握や現状把握に努めた。	市民アンケート （R7年度実施）	・令和7年度実施予定の市民アンケートで検証を行う。	乗合タクシーの出前講座や地域まちづくり協議会との意見交換会、乗降調査等を実施し、地域ニーズの把握や現状把握に努める。	
コミュニティバス路線の 収支率 【目標値】 令和8年度 10.0%以上	バス利用者増に向けて、地域との意見交換会やバス運行事業者と連携し、新図書館への誘導を目的に、SNSを活用した情報発信を行った。	亀山市及び バス運行事業者 データ	・未達成 ・5.2%（令和4年度） ・燃料費高騰による業務委託料の増加や利用者減少による乗車徴収金の減少により、収支率が低下した。	バス利用者増に向けて、今後も積極的に地域に出向き意見交換会の実施や地域と連携・協働によるバス活用イベント等の利用促進活動を展開していく。また、利用者ニーズを把握するため、バス乗降調査を実施する。	
公共交通維持に係る 年間実質負担額 【目標値】 令和8年度 概ね1億円/年	乗合タクシーの出前講座や地域まちづくり協議会との公共交通についての意見交換会を行い、市内公共交通（鉄道・バス・乗合タクシー等）の最適な組み合わせ（上手な活用方法）について説明を行った。	亀山市データ	・未達成 ・1億2,704万円/年（令和4年度） ・燃料費高騰による業務委託料の増加や利用者減少による乗車徴収金の減少により、年間実質負担額が増加した。	新たな技術を活用した取組の調査・研究に加え、必要に応じて、意向調査も実施しながら、鉄道やバス等の乗り継ぎや主要施設へのアクセスを考慮したダイヤの見直しの検討を行い、ニーズやサービス、コストを考慮した市内地域公共交通の最適な組み合わせによる運行を検討する。	

（記載に当たっての留意事項）

- 本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。